

いきいき直売の会特報

令和 8 年 2 月号



○第 25 回通常総会の開催について

下記日程で開催いたします。会員の皆様には、改めて開催案内文書を郵送させていただく予定です。「出席確認票 兼 委任状」を同封していますので、全会員から出欠の申し出をお願い致します。同状の提出先は、所属 JA 支所店です。欠席される場合のみ委任状を有効とさせていただきます。

「出席確認票 兼 委任状」は、各自、必ず提出して頂きますようお願い申し上げます。

◆第 25 回通常総会

日時：2月25日（水）午後1時30分

場所：氷見市農業会館 4 階会議室

内容 午後1時30分～午後3時 第25回通常総会
午後3時15分～午後4時15分 農薬安全使用講習会

○地消地産キャンペーンの実施について

総会案内に同封させて頂いたチラシの内容で「地消地産キャンペーン」を実施致します。キャンペーン期間中は、皆様の豊富な出荷をお願い致します！！
キャンペーン期間：3月1日（日）～3月31日（火）

○各店舗からのお知らせ

ふれあいマルシェ(対面販売) 出店者募集

～ご自分の商品を消費者に PR してみませんか！！～

JA グリーンひみ、みのりの番屋では、会員が商品説明などを行いながらお客様に対面販売する「ふれあいマルシェ」の出店者を常時募集しています。

「この野菜の美味しい食べ方を消費者に伝えて、直売所でもっと売れるようにしたい」

「栽培のこだわりを消費者に伝えて、自分の商品のファンを増やしたい」

などお考えの方は、ぜひともご検討ください。

お問合せ・お申し込みは、下記担当まで連絡願います。

※売上精算方法など、詳細についてはお問合せの際に説明致します。

※JA 広報等でイベント告知をさせていただきます。

お問合せ・お申込み：JA 氷見市営農販売課 担当：濱下 TEL:74-8861

○若手会員との意見交換会について

当会では若手会員がより活躍できる組織体制や 20～40 代の若手主婦層に支持される店づくりを目的として、1 月 29 日、農業会員にて「若手会員との意見交換会」を開催しました。

意見交換会では、若手会員（50 歳未満）8 名が参加し、早川 信一会長、南 勇樹 JA 氷見市組合長を含む直売の会役員、JA 氷見市職員との活発な意見交換が行われました。

事務局では、今回、若手会員より賜ったご意見の中から以下の内容を早速取り入れて売場に反映させる予定です。

《若手会員からいただいたご意見（一部）》

- ・JA グリーンの苗販売所において、お客様から「どこに何があるのかわからない」と言われることがある。現在の「ナス科」「ウリ科」「その他」の区分から「ナス」「トマト」「ミニトマト」「ピーマン」等、もう少し細分化できないか。
- ・曜日や店舗ごとの売れ行きなどの情報を共有していただくと会員側も改善しやすくなると思う。毎日薄く広く並べるより、曜日や売上の多い主力店舗に出荷を寄せて棚を強くすれば効果的だ。

○落葉果樹の冬季防除について

昨年度は、管内の一部の果樹園地において病害虫の発生により甚大な被害を受けた圃場がありました。

病原菌や害虫は越冬する可能性が高いため、休眠期（12 月上旬～3 月上旬頃まで、発芽前）に「冬季防除」を行うことがとても重要です。

まだ実施していない方は、別紙を参考に防除を実施しましょう。



2025 年 10 月 8 日 管内カキ圃場で発生した落葉病と思われる症状。



2025 年 10 月 8 日 管内カキ圃場で発生した炭疽病と思われる症状。

落葉果樹の冬季防除について

冬季防除をすることにより、果樹の生育中に品質や収量の低下を招く病害虫の発生を少なくし、豊かな収穫期を向かえることができます。冬季防除作業の徹底で、樹体上で越冬する病害虫の密度を低下させましょう。



カイガラムシ類

◆果樹の休眠期における病害虫防除

越冬病害虫の密度を下げるための冬場の防除は重要です。

基本となるのは、カイガラムシ類等の害虫を油膜で覆い窒息死させる機械油(マシン油)乳剤と、病気と害虫を同時防除できる石灰硫黄合剤の散布です。

いずれも使用時期は樹の休眠期で、新芽が動く前までに散布することが重要です。風のない穏やかな日にかけムラが起らないよう、丁寧に散布することが大切です。

石灰硫黄合剤は展着剤を加えることで、薬剤付着性と湿展性が高まり効果がアップします。

◆落葉果樹の冬季における主な防除薬剤

薬剤名	対象果樹	対象病害虫	希釈倍率	使用時期	使用回数
石灰硫黄合剤 (18L)	落葉果樹	カイガラムシ・ハダニ類	7~10倍	発芽前	使用回数に制限はありません
		越冬病害虫			
	ナシ・リンゴ	黒星病	7倍	発芽前	
	ウメ	縮葉病	8倍	発芽前	

薬剤名	対象果樹	対象病害虫	希釈倍率	使用時期	使用回数
機械油乳剤 (マシン油) キング95マシン (500ml)	落葉果樹 (ナシ・リンゴ・カキ・モモ)	カイガラムシ・サビダニ・ハダニ類及びその越冬卵	16~24倍	発芽前	使用回数に制限はありません
	落葉果樹 (但し、ブドウを除く)	カイガラムシ類	12~14倍	発芽前	

※キング95マシンは、ボルドー剤などアルカリ性剤、TPN水和剤、銅剤との混用は避けてください。石灰硫黄合剤は機械油乳剤、ボルドー液、銅剤との混用は避けてください。

※キング95マシンを散布した後に石灰硫黄合剤を散布する場合は、1カ月以上間隔をあけるようにしましょう。